平成２１年度第１回千代田区地域公共交通会議　会議録（概要）

平成２１年８月２５日（火）
千代田区役所４０４会議室

【１開　会】１０時

会長の挨拶

【２新委員の委嘱及び出席者の紹介】

事務局

資料１「千代田区地域公共交通会議出席者名簿」の順で出席者の紹介。

資料２「千代田区地域公共交通会議設置要綱」に基づき、オブザーバーに出席を求めたことの説明。

●委員の紹介
　・欠席者の委任状の報告
　・新委員への委嘱状の交付
●オブザーバーの紹介
●運行事業者の紹介
●事務局の紹介
●会議が公開であること及び会議の概要作成のため録音する旨の報告

【３千代田区地域福祉タクシー「風ぐるま（乗合）の概要について】

事務局

資料３「千代田区地域福祉タクシー「風ぐるま（乗合）」の概要」に沿って説明。

●運行改正の要因の１つとして利用者数の増加により、運行本数を増やさないと乗り切れなくなる可能性が拡大している状況がある。

【４障害者センターの概要について】

事務局

資料４「障害者センターの概要」及び資料５－⑤「現行の運行ルート及び時刻表」に沿って説明。

●富士見福祉会館が廃止となり、御茶ノ水駅近くの新しい障害者福祉センターへ移転する。また、千代田保健所麹町庁舎のＮＰＯサロン・ドゥ・ちよだも、障害者福祉センターに移転する。その他、新しい障害者福祉センターは、障害者のグループホームやショートスティ等の新しい事業も行い、２４時間３６５日の施設として来年１月から開設予定である。

このため、新しい障害者福祉センターを通るルートに運行改正する必要がある。

【５千代田区地域福祉タクシー「風ぐるま（乗合）」の運行改正について】：協議事項

日立自動車交通（株）

資料５－①「風ぐるま（乗合）事業計画」に沿って説明。

●運行路線は、改正後のルートを踏まえわかりやすい名称に変更。

・「秋葉原・麹町コース」を「和泉・麹町コース」に変更。

・「内神田・富士見コース」は現状のまま。

・「四谷・御茶ノ水コース」を「四谷・あきばコース」へ変更。

●運行日は現在、第２・第４日曜日と祝日及び年末年始を運休としているが、改正後は１２月３０日～１月３日を除く毎日の運行とする。

●運行時刻（資料５－③の時刻表参照）は、現在、９時から運行開始だが、改正後の一番早い始発は四谷・あきば便の８時２０分となる。最終便は１８時２５分千代田区役所着の内神田・富士見便となる。

●新設停留所・廃止停留所は、新設９ケ所と廃止５ケ所。廃止のうち２ケ所は実質移動であり３ケ所は完全な廃止。

●運賃設定で、前回の申請で入っていなかった「大人又は小人に同伴する未就学児は２人まで無料」を追加。

●変更時期は、平成２２年１月１日だが、１月１日～１月３日は運休日であるため、実際の運行開始は平成２２年１月４日からとなる。

事務局

補足説明。

●現在、交通管理者あるいは道路管理者との協議を進めているが、説明したルートや停留所の位置等について、調整の結果、細部で変更が生じる可能性もある。そのことを前提に協議していただきたい。

●障害者福祉センター他にも区の施設の移転等が予定されている。

平成２２年４月の飯田橋保育園移転と平成２２年９月の千代田保健所移転に伴い、停留所の名称変更、移転及び廃止とルート一部廃止が生じる。（資料５－⑥）この計画についても、協議の対象にしていただきたい。

【質　疑】

委　員

ルートを変更するにあたって交通管理者や道路管理者とご相談という話があったが、既存のバス路線とも関わりがあれば、事業者との協議もお願いしたい。

日立自動車交通（株）

現在、共用したいと考えている停留所が２ケ所ある。千代田区を通してご協力をお願いしたい。

委　員

具体的なお話をいただきながら相談していきたい。

委　員

廃止の停留所が５ケ所あった。

「五番町」と「仲良し公園」は完全に無くなってしまうのか。それとも、近くに移転するのか。

日立自動車交通（株）

「五番町」は下り坂にあるため、車イス利用者の場合、乗降が非常に危険であるため廃止とするが、代わりに、市ケ谷駅の保育園ドルチェあたりに「市ヶ谷駅」という停留所の新設を予定している。

委　員

あの道を入って行くと一方通行で狭いが、停められるか。

日立自動車交通（株）

現場を見て、奥の歩道が無くなっているところまで入れば、停められそうである。

警察との協議で了解が取れればそこへの設置を考えている。

「仲良し公園」停留所は、ここに入ることによって時間がかかってしまうため、都営バスの「麹町五丁目」停留所を共用したいと考えている。

今後、都営バスと協議させていただきたい。

委　員

「仲良し公園」停留所が「麹町五丁目」停留所に移るという考えでよいか。

事務局

はい。これまで麹町大通りから奥に入っていたのをやめて、仲良し公園からちょっと右側に停留所を移動する。

他の３ヶ所も説明をお願いしたい。

日立自動車交通（株）

「神田郵便局」「小川町郵便局」「神田明神下」の３ヶ所は利用者がほとんどいない。「神田郵便局」はすぐ近くの「かんだ連雀」という高齢者施設の停留所と近接している。「小川町郵便局」が完全に廃止となるのは、現在のコースは歩道を通過するためドライバーからも歩行者が多く危険だという意見があり、利用者も多くない停留所であるため廃止とした。「神田明神下」は、昨年、停留所前の建物が解体中ということで休止をして、現在も休止中の停留所である。利用者も少なく、近くに停留所があるので廃止とした。

事務局

地域の住民の方は少しの移動でもいろいろなご意見があると思う。本日の会議終了後に、それぞれ影響のある地域の住民の方には、区からご説明をしていきたい。

委　員

新しく作るのはよいが、既存を無くすとなるとこれまで使っていた人もいるので周知はしていただきたい。今の説明で「五番町」が「市ヶ谷駅」に移ること等は、よくわかった。

事務局

日立自動車の説明に補足する。

今までは「秋葉原・麹町便」と「内神田・富士見便」は区役所から西側へ向かう車と東側へ向かう車のそれぞれ２台の車輌が８の字を描くように回っていた。また、

「四谷・御茶ノ水便」は１台の車輌だけで回っていた。先ほど説明した、利用者が増えていて乗り切れないということを防ぐために、今回「四谷・御茶ノ水便」を御茶ノ水から秋葉原方面へコースを延ばした。また、車を１台増やし同時に２台が逆方向に運行するようにした。

これまでは常時５台運行だったが、常時６台運行に改正する。その他、御茶ノ水の障害者福祉センターを回るようなルート変更や、全体の便数も増やした。

会　長

利用者が増えてきたという状況で、１台増やしたことでかなり解消されるというふうに考えてよいか。

事務局

はい。絶対数が増えた。

千代田区で毎年実施している区民の世論調査でも、風ぐるまの利用について広く意見をいただいた。その中で、現在、８の字で一方通行の回り方をしていたため、行きは近くても帰りは遠回りとなり、逆周りを回して欲しいという意見もあった。岩本町や秋葉原方面は片方の回り方しか無いため、四谷便を秋葉原方面に拡大する中で、既存のルートと逆回りをするルートを設定した。資料５－②で、現行ルートは秋葉原駅周辺が青いルートだが、今回、逆回りとなるように緑ルートを拡大した。秋葉原周辺の方にとっては、行きも帰りも利用しやすいルートとなったことが改善点である。

関東運輸局東京運輸支局

新しい施設に入る以外にも、かなりルートが変更になっている。

資料として、１つの系統の中で新旧のルートや停留所がわかる資料があると良い。

また、既存事業者と停留所を共用する予定があるようだが、既存事業者はどう考えているのか。完全に競合して競争という状況は良くないので、十分な調整は必要である。既存事業者の現行等を含めた図面があると良い。

会　長

既存の事業者との競合部分を、何ヶ所か示すことができるか。

日立自動車交通（株）

四ッ谷駅から麹町五丁目までと九段下が都営バスと重複している。風ぐるまは、九段下から高齢者センターへ向うため、都営バスとの重複はほとんど無い。

関東運輸局東京運輸支局

新しいこれから出来る施設の周辺はどうか。

日立自動車交通（株）

障害者福祉センターは、他の事業者は通って無い。

会　長

競合しているのは２箇所だけか。この会議での協議が整えば、具体的に話を進めていくということでよいか。

委　員

はい。

会　長

警察の交通の方からは何かあるか。

交通管理者

運行ルートは特に支障が無いと思うが、障害者福祉センターの街路は本来パーキングメーターが付いている路線である。現在の工事が終了したら、位置の見直しも含めて新しくパーキングメーターが付く予定である。何故パーキングメーターを残さなくてはならないかについては、道路管理者と警視庁とで協議をした。パーキングメーター分の駐車場所が確保できればパーキングメーターは必要無いということだったが、残念ながら、これだけの台数の駐車スペースは確保できないためパーキングメーターは残る。警察庁のパーキングメーター設置基準路線というのがあり、パーキングメーターを残すのであれば大型自動車は通行止めとなる。交通量を見てもそんなに大きなトラックは入ってこないようだが、障害者福祉センターに併設する教会に年に２回程度、栃木から上京してくるバスがあると把握している。あとは、さほど問題はないと感じている。

会　長

風ぐるまの運行には影響が無いという認識でよいか。

交通管理者

はい。

委　員

私は高齢者センターを利用している。高齢者センター前は３台の風ぐるまが停車するが、いつも他の車が停車している。風ぐるまが３台入れるように場所を確保するということはできないか。

日立自動車交通（株）

路面に車イスのマークが付いているが、一般に停留所として認識されておらず、駐車が絶えない。例えば、都営バスの停留所のような白いペイントができれば、一般のドライバーに停留所と認識されやすくなるのではないかと思っている。停留所なのか道路なのかパーキングメーターなのか、わかりにくい曖昧な状態になっている。利用者からも駐車車輌をどかすようにとの声があり、安全を考えても改善の余地があると感じている。

交通管理者

現在、駐車監視員が駐車の取締りを行っている。高齢者センターの前については、監視員から、取り締まっていいのかという電話をよく受ける。曖昧な場所であり、何か方法はないかと感じている。

【採　決】

「千代田区地域福祉タクシー風ぐるま（乗合）」の平成２２年１月１日以降の事業計画（運行改正の内容）について採決。

全員賛成の挙手により可決。

【その他】

事務局

現在の千代田区地域公共交通会議任期が平成２１年９月３０日までのため、平成２１年１０月１日から２年間の新しい委員について、推薦又は同意をお願いする。

次期の委員の委嘱状は、平成２１年１０月以降に任期が改まった後、最初に開催する会議において交付する。

また、本日協議が整ったため、９月１０日に設定していた第２回目の会議は開催しないこととする。

【閉　会】１０時５５分